【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【公開番号】特開2014-8869(P2014-8869A)
【公開日】平成26年1月20日(2014.1.20)
【年通号数】公開・登録公報2014-003
【出願番号】特願2012-146892(P2012-146892)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｔ　13/74　(2006.01)
Ｂ６０Ｔ　13/52　(2006.01)
Ｂ６０Ｔ　13/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｔ　13/74　Ｚ
Ｂ６０Ｔ　13/52　Ｚ
Ｂ６０Ｔ　13/12　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成27年5月20日(2015.5.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ブレーキペダルの操作に応じて入力ロッドが進退し、該入力ロッドの進退量に応じて前記ブレーキペダルの操作力を倍力してマスタシリンダのピストンを推進する倍力手段がハウジングに設けられた倍力装置において、
前記入力ロッドは、一端側が前記ハウジング内に配置されて他端側が前記ブレーキペダルに連結され、中間部に前記ハウジングに設けられた規制部に当接して前記入力ロッドの後退位置を規定するストッパ部を有し、
該ストッパ部は、前記入力ロッド側に固定された固定部と、前記入力ロッドに対して軸方向に沿って移動可能に支持されて前記固定部及び前記ストッパに当接可能な可動部材と、前記固定部と前記可動部材との間に介装され、前記固定部と前記可動部とを離間させる方向に付勢する弾性部材とを備えることを特徴とする倍力装置。
【請求項２】
前記弾性部材は、前記可動部材が前記規制部に当接していないときに、前記固定部と前記可動部とを離間状態とすることを特徴とする請求項１に記載の倍力装置。
【請求項３】
前記弾性部材は、前記固定部と前記可動部との間に形成される窪みに格納されているることを特徴とする請求項１または２に記載の倍力装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
【特許文献１】特開２００９－２０２８６７号公報